

公益財団法人 日本サッカー協会
2026 年度 第 11 回理事会

2026 年 9 月 17 日

報告事項

1. 審判員への誹謗中傷に対する「審判リスペクト」の取り組みの件

(報告) 資料 1

昨今の審判員に対する誹謗中傷に対し、審判員が安心・安全に活動・成長できる環境を整えるため、ユース審判員を起点とした「審判リスペクト」の取り組みを開始した。

■議案の概要・背景

- ◆ 審判員に対する誹謗中傷や過度な批判が大きな問題となっており、国内においても各年代の主要大会等で審判員に対する誹謗中傷や SNS 上での批判・炎上が顕在化している。
- ◆ 毎年実施している審判員へのアンケート調査でも、審判活動において改善すべき事項として「判定への異議や批判」が最も多く挙げられている状況が続いており、審判員の取り巻く環境の改善が求められている。
- ◆ こうした状況を踏まえ、以下のような施策を通じて「審判員が安心・安全に活動・成長できる環境」を整えていきたい。

■施策

- ◆ ユース審判員リスペクト・ワッペンの導入 関連映像は[こちら](#)
試合現場におけるユース審判員の存在・役割の認知向上と審判員へのリスペクトの醸成
- ◆ 指導者養成との連携
資格取得→活動→大会参加の機会を通じ、審判員への適切な関わり方とリスペクトを啓発
- ◆ 競技会における啓発活動
映像、ポスター、場内アナウンス等を活用した、選手・指導者・保護者等への発信
- ◆ リスペクトシンポジウム等を通じた普及活動
審判員を取り巻く課題やリスペクトの重要性についてサッカー界全体で理解を深め、その浸透を図る

2. IFAB 回状第 34 号（日サ協発第 26080001 号）についての通達文発信の件

(報告) 資料 2

過日、IFAB 回状第 32 号（日サ協発第 26040010 号）及び第 33 号（日サ協発第 26060001 号）にて 2026/27 の競技規則改正に関する通達の発信を行った。その後、7 月 27 日付 IFAB 回状第 34 号にてさらなる条文の追加と重要な説明および試行に関する文書が届いたため、本件についても和訳の上、関係各所に通達を発信した。

■概要

- ① 制限時間付き交代の実施手順
- ② フィールド外の治療および負傷の程度の判断に関する実施手順
- ③ VAR 実施手順（人間違い）に関する追加の説明と戦術的なゴールキーパーの負傷、VAR 実施手順に関する試行

3. 国民スポーツ大会サッカー競技実施種別変更の件

2026 年第 7 回理事会（5 月 14 日開催）において、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「JSP0」）に対し、国民スポーツ大会（以下、「国スポ」）のサッカー競技における種別の変更を正式に要望することを報告した。その後、8 月 20 日に実施された JSP0 国スポ委員会にて JFA の提案が承認されたため、報告する。

■変更内容（JSP0 にて承認済）

2031 年第 85 回奈良大会から国民スポーツ大会サッカー競技実施種別を少年種別に特化し、成年種別を実施しないこととする。併せて、少年種別の参加人数・チーム枠を拡大する。

なお、委員会において正式に承認されたが、JSP0 から通知文書が発出されるまでに時間がかかる可能性があるため、速やかに報告を行うものである。

4. 競技会開催申請の件

- (1) 申請団体 : 一般社団法人新潟県サッカー協会
大会名 : 第 28 回国際ユースサッカー in 新潟
主催 : 公益財団法人日本サッカー協会、一般社団法人新潟県サッカー協会、
国際ユースサッカー in 新潟実行委員会
主管 : 一般社団法人新潟県サッカー協会 国際ユースサッカー in 新潟実行委員会
協賛 : キリンビバレッジ株式会社
協力 : 株式会社モルテン、プーマジャパン株式会社
後援 : 一般社団法人北信越サッカー協会、公益財団法人新潟県スポーツ協会、新発田市、
聖籠町、新発田市教育委員会、聖籠町教育委員会、
公益財団法人新潟市スポーツ協会、新発田市スポーツ協会、
NPO 法人スポネットせいらう、サンスポーツランドしばた、新潟日報社、報道各社
開催期日 : 2026 年 9 月 17 日（木）～ 9 月 21 日（月・祝）
会場 : 新潟市陸上競技場 デンカビッグスワンスタジアム
参加チーム : U-17 日本代表、U-17 新潟選抜、U-17 ニュージーランド代表、U-17 海外チーム
- (2) 申請団体 : 一般財団法人静岡県サッカー協会
大会名 : 静岡ゴールデンサッカーアカデミー2026
「スルガカップ 2026 静岡国際ユース（U-15）サッカー大会」
主催 : 静岡ゴールデンサッカーアカデミー実行委員会、一般財団法人静岡県サッカー協会
主管 : 一般財団法人静岡県サッカー協会第 3 種委員会
特別協賛 : スルガ銀行
協賛 : キリンビバレッジ株式会社、株式会社モルテン
後援 : 静岡新聞社・静岡放送
開催期日 : 2026 年 10 月 9 日（金）～ 12 日（月・祝）
会場 : 愛鷹広域公園多目的競技場・時之栖 A グラウンド
参加チーム : フェイエノールト・ロッテルダム U-15（オランダ）、
水原三星ブルーウィング FC U-15（韓国）、
静岡県選抜 Team FFF、静岡県選抜 Team SSS

5. 2026 年度 功労賞の件

地域サッカー協会（地域 FA）および都道府県サッカー協会（都道府県 FA）から申請があった下表の前（元）役員に功労賞を授与する。なお、本件については、表彰規則第 6 条に則って殿堂・表彰委員会で承認された。

※対象者：

- (1) 地域 FA および都道府県 FA の三役（会長、副会長、専務理事）を退任された方
- (2) 地域 FA 役員を退任された方（役員歴 20 年以上）

No.	氏名	都道府県 サッカー協会	前（元）役職
1	中山 明彦	北海道	副会長
2	廣谷 滋	青森県	副会長
3	嶋脇 洋三	青森県	副会長
4	板橋 秀樹	宮城県	副会長
5	本間 一真	宮城県	副会長
6	荻原 英孝	秋田県	副会長
7	市川 清	山形県	副会長
8	齊藤 勝	福島県	専務理事
9	針谷 章	群馬県	会長
10	竹沢 豊	群馬県	副会長
11	佐久間 悟	山梨県	副会長
12	小松 重貴	山梨県	副会長
13	廣部 雅之	福井県	専務理事
14	服部 康雄	静岡県	副会長
15	山本 昌邦	静岡県	副会長
16	前田 康一	滋賀県	会長
17	林 啓司	兵庫県	会長
18	小林 訓二	山口県	会長
19	照内 利通	山口県	専務理事
20	河野 暁	徳島県	会長
21	香留 和雄	徳島県	副会長
22	三好 公子	愛媛県	副会長
23	松木 泰則	高知県	会長
24	久保 一夫	高知県	副会長
25	谷岡 雅彦	高知県	副会長
26	田澤 好晴	福岡県	副会長
27	宮崎 章史	福岡県	副会長
28	福岡 淳二郎	佐賀県	会長
29	河田 信之	熊本県	会長

30	小野 龍男	熊本県	副会長
----	-------	-----	-----

6. 名義使用申請の件 申請団体 : 株式会社らくだスタジオ 行事名称 : ドキュメンタリー映画「デフリンピック・ストーリーズ」 場所 : ポレポレ東中野、他劇場（予定） 事業期間 : 2026 年 11 月 14 日～2027 年 11 月 14 日 名義の種類 : 後援 主催 : 株式会社らくだスタジオ 共催 : 本作品監督中村和彦 後援 : （予定）一般社団日本障がい者サッカー連盟、 一般社団法人日本ろう者サッカー協会、公益財団法人日本ハンドボール協会、 公益財団法人日本サッカー協会 協力 : 国際ろう者スポーツ連盟 行事の概要 : 【行事等の目的】「第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025」（聞こえない・聞こえにくい人々のオリンピック）で銀メダルを獲得したデフサッカー女子日本代表チームの姿を映画という媒体を通じて多くの人々に伝える。 【行事等の内容】東京を皮切りに全国の映画館や自主上映会で上映 【行事等の対象者】サッカーや障害、同映画に関心がある観客
7. 裁定委員会に関する懲罰の件 裁定委員会より報告された懲罰案件 1 件について報告する。
8. 不服申立委員会の決定の件 不服申立委員会（委員長：中島肇）より報告された決定（1 件）について報告する。